

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：下保 修

事業名	一般国道487号 小用バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	広島県						
起終点	自：広島県江田島市江田島町中央 至：広島県江田島市江田島町小用	延長	2.5 km								
事業概要	<p>一般国道487号は、広島県呉市を起点とし、「江能倉橋島半島振興地域」を経て、広島市に至る延長約62kmの幹線道路である。</p> <p>小用バイパスは、家屋連坦区域の狭小幅員解消による小用港や切串港へのアクセス向上を図ることを目的とした、延長2.5kmの2車線道路である。</p>										
H10年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H10年度用地着手	H10年度工事着手								
全体事業費	6.8億円	事業進捗率	50.3%	供用済延長	0.4km						
計画交通量	5,800～3,700台/日										
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.6 (残事業) 4.1	総費用 (残事業)/事業全体 27/69億円 (事業費：25/67億円 維持管理費：1.9億/1.9億円)	総便益 (残事業)/事業全体 109/109億円 (走行時間短縮便益：100/100億円 走行経費減少便益：8.5/8.5億円 交通事故減少便益：0.94/0.94億円)	基準年	平成19年						
感度分析の結果	<p>残事業費（事業全体）について感度分析を実施</p> <p>交通量変動：B/C=4.5（交通量+10%） B/C=3.7（交通量-10%）</p> <p>事業量変動：B/C=3.7（事業費+10%） B/C=4.5（事業費-10%）</p>										
事業の効果等	<p>現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する（江田島市内）</p> <p>現道における大型車のすれ違い困難区間を解消する</p> <p style="text-align: right;">他5項目に該当</p>										
関係する地方公共団体等の意見	<p>当該路線は、合併建設計画においても主要事業にあげられているが、狭あい線形も悪く大型車の通行や離合が困難な状況にあり、歩行者の安全性や緊急時の対応についても支障をきたしている。</p>										
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>平成16年11月1日に広島県江田島町他3町が合併し江田島市となり新市建設計画の主要事業に位置付けられた。</p>										
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>起点のアカハ子地区から小用港までのバイパス早期の事業完成を図るとともに、ウシイシ地区の用地買収に着手し、早期全線供用できるよう事業推進を図る。</p>										
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>関係事業及び地元調整に時間を要したが、起点側のアカハ子地区から小用港までのバイパス早期事業完成を図るとともに、ウシイシ地区の用地買収に着手し、早期全線供用を図る。</p>										
施設の構造や工法の変更等	<p>本事業の建設発生残土を小用地区港湾整備事業の埋立土として流用することによりコスト縮減に努める。</p>										
対応方針	<p>対応方針決定の理由</p> <p>以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。</p>										
事業概要図					<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2">凡 例</th> </tr> <tr> <td style="width: 20px;">—————</td> <td>供用中</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px;">●●●●●</td> <td>事業中</td> </tr> </table>	凡 例		—————	供用中	●●●●●	事業中
凡 例											
—————	供用中										
●●●●●	事業中										

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。